

## 4月定例教育委員会 会議録

日 時	令和4年4月13日（水） 午前9時30分～午前10時15分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	飯田教育部長・田村教育総室長・林生涯学習室長・平岡総務課長・風間学校教育課長・青木図書館長・小林甲府商科専門学校課長・芦川教育施設課長・石川学事課長・橘田総務課課長補佐・菱山総務課係長・坂本総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・3月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

### 1 開会

#### 數野教育長

これより4月定例教育委員会を開会します。

#### (1) 教育委員あいさつ

##### 數野教育長

コロナ禍での3度目の4月がやってきました。学校現場では、昨年度までに学んだ知見と経験を生かした感染症対策を行いながら、新年度をスタートさせたところです。しかし、なかなか新型コロナウイルス感染症の収束の兆しは見えず、本県の日々の感染者数も高止まりの状態が続き、すでに第7波が来ているのではないかと心配されています。このようなコロナ禍の中、令和4年度も教育総室、生涯学習室のそれぞれの課において、解決すべき課題や進めていくべき事業があるわけですが、特に学校教育の面で、先週の定例校長会においてお話したことを今日はお伝えしたいと思います。

昨年度の年度当初の校長会においては、令和3年度に特に取り組んで欲しい4つの課題についてお話ししました。それは、「withコロナ時代に即した教育課程の編成」「ICT教育の推進による授業改善」「人権意識の向上」「人材育成と人材活用」の4つです。

そして、これらについての成果と課題を踏まえて、今年度に取り組んでいただきたい4つの課題についてお話ししました。その4つは、「学校・教職員への信頼回復」「ICT教育の充実による一層の授業改善」「不登校児童生徒に対する総合的な取組の展開」「地域とともにある学校づくりの推進」です。

一つ目の「学校・教職員への信頼回復」については、甲府市の全教職員が一丸となって子どもたちに向き合っていくことしかありません。もちろん市内のほとんどの教職員は、子どもたちはもとより保護者や地域と着実に信頼関係を築きながら、子どもたちのために日々奮闘していると承知しています。しかし、これを一番に持ってきたのは、全ての教職員に常に意識してほしいという思いからです。既に年度初めの職員会議等で、管理職から服務規律の確保について指導があったわけですが、是非、毎月1回のスクールコンプライアンスに関する研修をはじめ、1対1の密室の回避など、やるべきことをしっかりとやっていくことを改めて確認いたしました。

二つ目の「ICT教育の充実による一層の授業改善」については、昨年度までのGIGAスクールの取組を充実させ、「誰でも 無理せず できることから」のキャッチフレーズから一歩進め、「学びを深める」の段階に入ります。ICT機器を使うことが目的でないことは言うまでもないことですが、昨年度1年間の取組の成果と課題を確認する中で、クロームブック等を活用した授業がどう「主体的・対話的で深い学び」に繋がっていくのか、学校全体で共通理解を図りながら取り組んでいくことが大切です。この課題については是非継続していきたいと考えています。

三つ目は「不登校児童生徒に対する総合的な取り組みの展開」です。昨年度の不登校児童生徒数は、コロナ禍の影響も考えられる中で、前年度を上回り、市教委としても強い危機意識を抱いています。そこで、今までの取組をさらに強化するとともに、より総合的な取り組みを行っていきます。

いじめや不登校については、未然防止と早期対応が何より大切ですので、そのための取組については学校を中心に頑張ってもらわなければなりません。しかし、現状の数字をしっかりと受け入れる中で、もう一つの側面として、不登校状態にある児童生徒に対する学習機会の確保を重要視したいと思っています。この点については、適応指導教室である「あすなろ学級」での指導や一人一台端末を活用したホームスタディ、さらに自立支援カウンセラーや生活福祉課学習支援担当による訪問指導など、様々な制度や人材を活用しながら、力を併せて取り組んでいきたいと考えています。

四つ目の「地域とともにある学校づくりの推進」では、市内全小中学校において学校運営協議会の設置に向けた準備を進め、令和5年度からのコミュニティスクール化を進めていきます。今求められているのは、また、学校が求めていくものは、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」です。形だけのコミュニティスクールではなく、地域と一緒にこれからどのような学校を目指していくのか、それぞれの地域の特色や実情を十分に踏まえる中で、校長自らがビジョンを示していくことが求められており、教育委員会としてもそれをしっかりと支援していく予定です。

令和4年度は、特にこの4つを挙げさせていただきましたが、この他にも当然、様々な課題が山積しています。不易の課題としての「学力向上」や「いじめへの対応」は継続して取り組んでいかなければなりません。また、「教職員の働き方改革」はここ数年の大きな課題です。本年から市教委で行う給食費の公会計化や学納金の代理徴収によって、実際どのように多忙化改善が図られたのかを検証する必要もあります。「人材育成」と「人材活用」の両立についても、本年度も本市に昨年度とほぼ同様の43人の新採用と61人の再任用の教職員が配置されていることから、引き続き、取組の継続が必要です。そして、各校には各校の喫緊の課題があることを踏まえ、各校の実情に応じて重点を置く中で、取り組んでいくことをお願いしたところです。

先週、ある小学校の登校の様子を校長先生と一緒に見させていただく機会がありました。大きな声であいさつしながら次々と登校していく上級生。その後を遅れないようにしっかりとついていく下級生。保護者が心配そうに見つめる中で、元気に手を振って校舎に入る黄色い帽子の1年生。4月は希望に満ち溢れた時です。4月は全ての子どもたちが不安はあるものの期待に胸を膨らませている時あります。子どもたちと、保護者と、地域と、全ての教職員が信頼を育もうとするとき、それが4月です。本年度もこの4月のスタートを大切にしながら、コロナ禍の中でも、様々な工夫を行いながら子どもたちの学びを止めず、「チーム甲府」で取り組んでいきたいと考えています。教育委員の皆様には、これまでも増してお力添えをいただくとともに、忌憚のないご意見をいただく中で、教育委員会の役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが、新年度に当たってあいさついたします。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

### **数野教育長**

会議録の署名委員は、市川職務代理にお願いします。

## **(3) 前回会議録の承認**

### **数野教育長**

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。  
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

## **2 議事**

### **(1) 報告**

#### **数野教育長**

第4号 甲府市議会3月定例会の審議状況。

第5号 予算特別委員会の審議状況。

資料に基づき、一括して平岡総務課長から説明をお願いします。

(平岡総務課長から資料に沿って説明)

### **數野教育長**

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

### **市川職務代理**

昨年度から取り組みを進めている様々な形での ICT の活用について、非常に素晴らしいと感じています。しかし、このような新しいものを使うという事になりますと、学校において、子供が学習の理解を深めることよりも、デジタル機器を使用することを目的とってしまうことが懸念されます。専任の先生方を配置する等の備えをされていると思いますが、そのようなことに留意しながら準備を進めていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

### **風間学校教育課長**

学校教育課では、ICT の活用について、昨年度は誰でも無理せず、できるところからということで、各学校から ICT 活用の実践事例を挙げていただき、それを各学校に共有することで、子どもたちの教育に活用してきました。従って、先生方の ICT への知識やスキルは、かなり向上しています。しかし、市川先生から指摘を受けたとおり、子どもたちがデジタル機器を使用することを目的としている部分もあり、効果的な学習に繋がっているか不明な部分もあります。

山梨県においても、今年度、学校教育指導重点の中で、「ICT の効果的な活用」を示しています。そのため、甲府市においても、今年度はより効果的な指導を模索していきたいと考えています。また、昨年 1 年間で急速に ICT 活用が進んでいるので、令和 4 年度においても、先生方の努力によって、さらに効果的な活用につながっていくのではないかと期待をしております。また、学校教育課でも引き続きサポートしていきたいと考えます。

### **數野教育長**

よろしいでしょうか。

### **市川職務代理**

よろしくお願いいたします。

### **數野教育長**

その他に何かありますでしょうか。

### **原委員**

28 ページにある、来年度設置予定の「不登校対策検討委員会」とはどのようなものですか。

### **風間学校教育課長**

先ほど教育長の話にもありましたが、令和 3 年度に不登校生徒の数が増加している部分があり、学校教育課でも喫緊の課題として受け止めているところです。そのため、不登校生徒に対する総合的な取り組みを行うために設置するのが、「甲府市不登校対策検討委員会」になります。現在、具体的な話をするにはできないのですが、大学の先生に委員長職を、学校現場からも、校長先

生、教頭先生、一般の先生方にも委員として入っていただくことを想定しています。さらに、民間の専門職の方にもご意見をいただく中で、不登校の対策を考えていきたいと思っています。

とにかく不登校生徒を増やさず、未然に防止することが大事になってくるので、不登校になりそうになった子にどういうサポートしていくのかということを中心に考えていきたいと思っています。

#### **原委員**

不登校児童生徒の数が増加しているという話がありましたが、原因・理由はどのくらい把握していますか。

#### **風間学校教育課長**

これという一つの理由を申し上げることは難しいのですが、勉強が嫌いで授業が理解できなかったり、コロナウィルスの蔓延で友達との関わりが薄くなったということも理由として考えられます。また、3学期は分散授業で、学校へ行く日、行かない日もあり、その中で昼夜逆転生活となり、学校へ行きづらくなったことも考えられます。

#### **原委員**

不登校生徒に関しては、甲府市だけではなく、他の市町村の保護者の方からもたくさん相談を受けており、話を聞くと、学校に行きたくない・行けないという理由が、子ども自身も具体的に分かっていないという例が非常に多いと感じられます。

いじめもなく、勉強も嫌ではないが、学校に行くのが不安、周囲がやたら敏感になっている、学校に居場所がない、他人の目が気になるという様々な理由を耳にします。そのような子ども達の心にも寄り添いながら対応していただきたいと考えています。

#### **數野教育長**

未然防止、早期対応を図るのは当然のことながら、不登校となってしまった生徒への学習機会をどうするかという部分で、ICTが活用できるのではないかと考えており、本市においても、そのような体制を現在整えておりますので、様々なご意見をいただきたいと考えています。また、民間の力も活用し、学校や家庭だけで考えず、関係者で力を合わせて不登校問題に取り組んでいきたいと考えています。不登校問題について、小中学校内で解決することが出来なくても、その先に、子ども達が再度学校で学びたいと思ってもらえるような体制作りを行っていきたいと考えています。

それ以外に何かありますでしょうか。

#### **末木委員**

キャリア教育について、質問ではなくお願いになります。

開府500年事業で行われた「ドリームキャンパス」事業について、私自身も地元の千代田小学校で開かれたものに参加いたしました。当日、女性アナウンサーの方が講師で見えられ、自身がアナウンサーを目指すきっかけとなった話等をしていただきました。

この事業のように、講師の方と直にお会いして、具体的な実体験を聞くのは、参加した子ども達に非常によい刺激になると感じたため、「ドリームキャンパス」事業については、継続して行っていただきたいと思います。

### **風間学校教育課長**

学校現場にもそのように伝えていきたいと思います。

### **数野教育長**

夏休みに中学2年生を対象にした、職場体験を毎年行っているところであるが、コロナ禍で行うことができていないため、実体験をする機会がない状況となっています。

そのため、実体験に基づく話が聞けるドリームキャンパス事業はキャリア教育にとっても効果的であると考えており、継続して行っていきたいと考えています。

それ以外に何かありますでしょうか。

### **岡田委員**

資料の中で、あすなろ学校のあり方について検討していくとあります。このような、物理的な施設を設けて不登校生徒へ対応を図ることも大切だと思いますが、別の対応も取る必要があると考えています。

先日、ある保護者の方から、不登校になってしまった子について話を聞きました。その子は、自身は自分の通っている学校に今は行けてないが、教室以外のところで学びたい、あすなろを紹介されても行きたくないと話していたそうです。自分の教室には足を運ぶことはできないが、先生が見守っている場所で、給食を食べたり、勉強をしたり、テストを行うことで自分自身のことを見出している子もいます。不登校問題についてはケースバイケースであり、一人一人の心や必要としている部分も違ってまいりますので、施設も大切だとは思いますが、学校や先生方も生徒一人一人を受け入れて対応をしていくことが大切だと思っています。教育委員会としても学校現場に手助けをする機会があればお話いただければと考えていますので、よろしくをお願いします。

### **風間学校教育課長**

不登校になってしまったお子さんが施設よりも自分の学校で学びたいというのはお話しされた通りだと思います。現在、各学校でも、できる限り個別・別室で指導できるような仕組みを作っており、空き時間の先生、地域ボランティアの学生・地域の教員OBによる別室での個別指導や、養護教諭による保健室でのケアなど、臨機応変に対応していきたいと考えています。

また、今年度、実現できるかわからないが、ICTを活用して教室の授業の様子を別室で確認する等の対応も考えています。

### **数野教育長**

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

### 3 その他

**数野教育長**

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

### 4 閉会

**数野教育長**

それではこれもちまして、4月定例教育委員会を閉会します。